

(十二月物語) 2幕

森は生きている

ふぶきにとざされた冬の森に咲いたマツユキ草。

それは「四月の精」から、心やさしい「みなしご」への特別な贈り物でした。

詩情溢れる舞台 美しい音楽 移り変わる四季

一九五九年初演以来、全国の子どもから大人までを魅了した感動の舞台がおかげさまで二〇〇〇回公演を達成することができました。



燃えろ 燃えろ あざやかに
夏はカッカと照るだろう
冬はなるだけ暖かく
春はやさしく照るがよい
燃えろ 燃えろ 明るく燃えろ
消えないように どんどん燃えろ

児童演劇の最高傑作を 世代を超えて21世紀へ

児童・青少年に質の高い舞台を提供することは、現代においてますます重要な課題のひとつです。「森は生きている」は劇団仲間の代表作で、60年を超え、毎年、年末年始に公演を重ねてきています。このようなロングランは作品の魅力や知名度もさることながら、幾世代にわたって多くの人達に愛され、全国各地で上演を待っている観客に支えられた、ひとつひとつの公演成果の積み重ねなのです。今後も劇団の総力をあげ、21世紀に輝く作品として新しい出逢いをしていきます。

作/サムイル・マルシャーク 訳/湯浅 芳子 (岩波書店版) 音楽/林 光 出演者/27名

公演回数 2148回 '24年2月現在